

第80回ボランティア広場概要 「SNSの活用講座」

1. 日 時：令和6年9月18日(水) 18時～20時
2. 場 所：かわぐち市民パートナーステーション 会議室1～3
3. 講 師：かまくらさちこ株式会社 代表 鎌倉 幸子氏
4. 参加者数：17名（団体所属10名、一般市民7名）

5. 要 旨

はじめに、SNSとは何か説明する。SNSを理解していなければ、SNSに投稿しても、閲覧者から反応がなく手応えを感じられない。SNSに投稿する際に、検索をすることを薦める。人気の書き込みがあれば、なぜその投稿が人気なのか学びながら投稿してもらいたい。実際にSNSを使用していると、自身の活動を積極的に投稿しなければいけないと思う方が多いが、そうではない。閲覧数の多い投稿は、何かに困っている人に向けた情報を発信している投稿である。イベント等の投稿の他にも、有益な情報を提供することで、閲覧者とも信頼関係を築くことができ、多くの方に閲覧してもらえるカギとなる。SNSとは、『インターネットを介して世界中に広がる「社会的な会話」である』と、ある書籍に書いてあるように、自身の投稿が双方向性という特徴を生かしているのか見直す必要がある。つまり、閲覧者が、投稿にコメントをしたいと思えるような投稿かどうかポイントとなる。

次に、SNSの発信は誰に届くのか。相手によって知りたい情報が異なるため、相手が知りたいと思う情報をそれぞれのSNSサービスで発信しなければいけない。まずは、自身の活動を誰に伝えたいか、その人は、どのような人で、何を知りたいのかを考える。

また、それぞれのツールの特徴について述べる。クラウドファンディングの手段の多くは、スマートフォンである。SNSの利用率のグラフを見ても、10代及び20代は、InstagramやXが多い一方で、40代はFacebookが多く利用されている。どの世代に向けた情報発信なのかを考え、それぞれに合ったSNSを利用した方が良い。

SNSサービス別に特徴を述べる。LINEは、友達追加登録する手間はあるが、全世代が活用しているため、情報を必要としている人に直接発信することができる。Facebookは、親しい人に近況を報告することができ、絵日記のように

利用することができる。Xは、有料版もあり、投稿文字数に制限を解除することができる。情報収集を目的に活用している方が多い。Instagramは、写真投稿がメインとなっている。文章も入れることができるが、短文が主である。YouTubeは、動画型のSNSである。情報収集のためにも利用され、様々なジャンルの動画投稿があり、幅広い世代から視聴されている。まずはSNSに慣れるべきである。慣れるには、相手を知り、相手を知るためには、検索してみることが重要である。

SNSを利用する上で、気をつけるべきことは、誹謗中傷をしない。また、個人情報公開しないようにする。1度投稿すると、簡単に削除できず残ってしまう。情報の正確性や、インターネット上でも礼儀を守ることが大切である。

これからデモンストレーションをしながら進めていく。まずは、プロフィールを作成する。プロフィールの作成は、自己紹介でもあるため、より具体的に書く必要がある。また、季節や共感できるような情報を投稿することで、閲覧者も親しみやすい。他には、「いいね」を押すことや、投稿にコメントすること、フォローすることで、双方向の会話をすると良い。

今回の講義をまとめると、スキルより内容が重要であり、閲覧者が愛着を感じる情報を投稿することが大切である。また、双方向の会話として、「いいね」を押したり、コメントをしたりすることも有効的である。投稿する前に、検索し、人気な投稿から様々なことを学んでみてほしい。

Q. 複数のSNSを管理するにはどうすればよいか。

A. 対象の年代がどのSNSを利用しているかを考えると良い。

Q. 投稿を拡散すべきものの見極め方を教えてほしい。

A. 投稿者の他の投稿を確認すると良い。

第80回ボランティア広場の様子

